

久原 大輝

JTサンダーズ広島



反復練習で 技術を向上

かつて世界クラブ選手権で優勝し、イラン代表を初の五輪出場へ導いた、ラウル・ロサノ監督が合流してから、2カ月がたとうとしている。

午前の練習は8時半から約3時間のゲーム形式中心のボールメニュー。午後は約3時間、ウエートトレーニングとボールのスキル練習を行っている。午前8時半からのボール練習は、おそらく他のチームは行っていないだろう。

ロサノ監督は「ゴルフやテニスなどと同様にバレーボールの技術も反復練習を通じ、その中で解決策を見いだすことがうまくなるための近道だ」と述べている。選手には「状況判断、選択、実行の順序でプレーをしてほしい」と繰り返し説いている。良いプレーには「グッド」と褒め、悪いプレーには何が悪いか、時には声を大にして鼓舞する場



練習中、指導するロサノ監督

面もある。

コミュニケーションを取ることが大好きで、スタッフや選手と身ぶり手ぶり、時には冗談も交え、密な連携を図っている。

Vリーグの開幕まで2カ月。ロサノ監督が采配を振る姿が楽しみでしょうがない。

(JT広島マネジャー)